東栄橋　　数量総括表

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	数量 設計	数量 積算	摘要
橋梁保全工事								
	橋梁補修工							
		断面修復工						
			左官工法	鉄筋ケレン・防錆処理含む	構造物	1	1	V=0.047m3
			左官工法	鉄筋ケレン・防錆処理含まない	構造物	1	1	V=0.002m3
		ひび割れ補修工						
			充填工法	補修延べ延長20m未満	構造物	1	1	L=16.9m
		洗堀対策工						
			水中コンクリート		m3	7.0	7.0	
			同上型枠		m2	6.4	6.4	
			無収縮グラウト		m3	7.0	7.0	
			同上型枠		m2	8.1	8.1	
		伸縮装置補修工						
			伸縮装置	HDJ-SCV20	m	9.0	9.0	
		排水管補修工						
			排水管撤去		m	2.6	2.6	
			無収縮モルタル		m3	0.002	0.002	
			排水管設置		m	6.9	6.9	
			VP管φ100	直管	m	6.4	6.4	≒2本
				90°エルボ	個	4	4	
			取付金具		個	4	4	≒0.023t
			鉄筋探査	横向き	m2	0.1	0.1	
			本体打込み式アンカー	M12	個	8	8	削孔込
		防護柵補修工						
			防護柵	笠木付きガードレール	m	30	30	
			コンクリート削孔	200㎜以上400㎜以下	孔	72	72	
			アンカーボルト	M22×230	本	72.0	72	
			高欄設置工	笠木付ガードレール	m	30	30	

東栄橋　　数量総括表

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	数量 設計	数量 積算	摘要
		地覆改良工						
			鉄筋	SD345 D16~25	t	0.59	0.59	
			機械式継手	スリーブ圧着ネジ継手D19	個	8	8	
			橋梁地覆補修工	コンクリート	m3	1.9	1.9	
		水切り設置工						
			水切り設置工		m	31.0	31	
			水切り材	EPDM系ゴム W25×H20	m	31.0	31	
		構造物撤去工						
			Co構造物取壊し	有筋	m3	1.59	1.6	
				無筋、人力積込	m3	0.04	0.04	
			殻運搬	有筋	m3	1.59	1.6	
				コンクリート塊(無筋)	m3	0.04	0.04	
			処分費	Co 有筋	t	3.70	3.7	
				Co 無筋	t	0.08	0.08	
	仮設工							
		仮設工						
			吊足場	TYPE A1	m2	68	68	
			朝顔	TYPE B	m2	68	68	
			板張防護工	TYPE B	m2	68	68	
			シート張防護工	TYPE B	m2	68	68	
			床面シート張防護工		m2	68	68	
			吊足場	TYPE E シート+板張防護	m2	34	34	
			大型土のう工	製作・設置	袋	14	14	
			大型土のう工	撤去	袋	14	14	
			ラフテレーン クレーン	25t吊	日	2	2	

東栄橋　　断面修復工　数量集計表

1式当り

細　　別	規　　格	単位	数　　量	摘　　要
断面修復工				
左官工法	鉄筋ケレン・防錆処理含む	構造物	1	V=0.047m3
左官工法	鉄筋ケレン・防錆処理含まない	構造物	1	V=0.002m3

名　称	計　　算　　式	単位	数 量
断面修復工			
左官工法	鉄筋ケレン・防錆処理含む		
	N　= 　　= 1	構造物	1
	ポリマーセメントモルタル		
	数量表より		
	V　　= 0.040	m^3	
	ロス率1.18		
	V　=　0.040　×　1.18　　= 0.047	m^3	
左官工法	鉄筋ケレン・防錆処理含まない		
	N　= 　　= 1	構造物	1
	ポリマーセメントモルタル		
	数量表より		
	V　= 　　= 0.002	m^3	
	ロス率1.18		
	V　=　0.002　×　1.18　　= 0.002	m^3	
殻運搬	単位数量(はつり工)より		
	V1　＝（鉄筋ケレン・防錆処理含む）　　= 0.033	m^3	
	V2　＝（鉄筋ケレン・防錆処理含まない）　　= 0.002	〃	
	ΣV　= 0.035	m^3	
	※構造物撤去工にて計上		
殻処理	コンクリート塊(無筋)　　2.30　kg/m3		
	W　=　0.035　　= 0.035	m^3	
	※構造物撤去工にて計上		

断面修復工(左官工法) 数量表

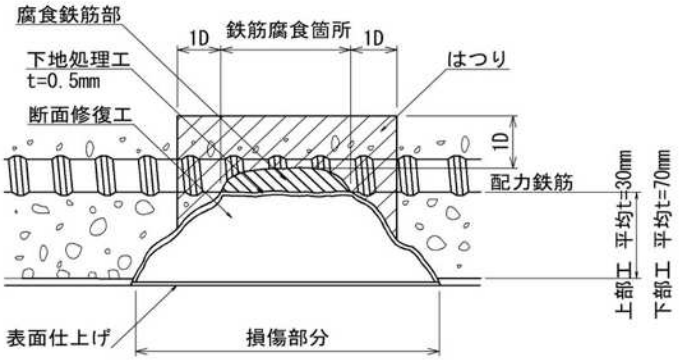
鉄筋ケレン・防錆処理含む

番号	縦 (m)	横 (m)	深さ (m)	箇所	体積 (m3)	備考	番号	縦 (m)	横 (m)	深さ (m)	箇所	体積 (m3)	備考
1	0.100	0.100	0.03	1	0.001	桁下	24	0.100	0.100	0.03	1	0.001	〃
2	0.050	0.150	0.03	1	0.001	〃	25	0.050	0.150	0.03	1	0.001	〃
3	0.100	0.100	0.03	1	0.001	〃	26	0.100	0.100	0.03	1	0.001	〃
4	0.100	0.100	0.03	1	0.001	〃	27	0.100	0.100	0.03	1	0.001	桁下
5	0.100	0.100	0.03	1	0.001	〃	28	0.050	0.150	0.03	2	0.001	〃
6	0.100	0.100	0.03	1	0.001	〃	29	0.100	0.100	0.03	3	0.001	〃
7	0.050	0.150	0.03	1	0.001	〃	30	0.050	0.150	0.03	1	0.001	〃
8	0.050	0.150	0.03	5	0.002	〃	31	0.100	0.100	0.03	1	0.001	〃
9	0.400	0.400	0.03	1	0.005	〃	32	0.050	0.150	0.03	1	0.001	〃
10	0.100	0.100	0.03	1	0.001	〃	33	0.150	0.450	0.03	1	0.003	〃
11	0.050	0.150	0.03	1	0.001	〃							
12	0.100	0.100	0.03	1	0.001	〃							
13	0.050	0.150	0.03	1	0.001	〃							
14	0.100	0.100	0.03	1	0.001	〃							
15	0.050	0.150	0.03	1	0.001	〃							
16	0.100	0.100	0.03	1	0.001	〃							
17	0.100	0.100	0.03	1	0.001	〃							
18	0.050	0.150	0.03	2	0.001	〃							
19	0.050	0.150	0.03	2	0.001	〃							
20	0.100	0.100	0.03	1	0.001	〃							
21	0.050	0.150	0.03	1	0.001	〃							
22	0.100	0.100	0.03	1	0.001	〃							
23	0.050	0.150	0.03	1	0.001	〃				合計(m3)		0.040	

断面修復工　単位数量計算書

概　　略　　図

断面修復工(防錆処理含む)



断面修復工(鉄筋ケレン・防錆処理含む)数量表　　1橋当り

名　　称	規　　格	単　位	数 量	備　　考
はつり工		m^3	0.033	
断面修復材	ポリマーセメント系モルタル	m^3	0.047	ロス分含む

1.鉄筋のかぶりが少なく、表面が劣化していると思われる箇所の周辺については、損傷箇所と同様にはつり工を行い、コンクリート面にプライマー塗布後、断面修復工を行うこと。

2.鉄筋のさびを確認した場合は、鉄筋背面及び発錆範囲により、1Dまではつりを行うこと。

3.露出した鉄筋は電動ワイヤーカップ等で錆を除去し、鉄筋防錆材を塗布する。

1橋当り

名　称	計　　算　　式	単位	数 量
はつり工	断面修復材の70%と想定		
	V = 0.047 × 70% = 0.033	m^3	0.033
断面修復材	ポリマーセメントモルタル		
	V = 0.040	m^3	0.040
	ロス率 1.18		
	V = 0.040 × 1.18 = 0.047	m^3	0.047

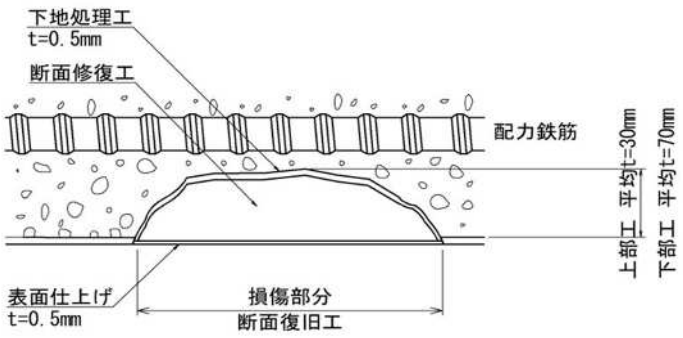
断面修復工(左官工法) 数量表

鉄筋ケレン・防錆処理含まない													
番号	縦 (m)	横 (m)	深さ (m)	箇所	体積 (m3)	備考	番号	縦 (m)	横 (m)	深さ (m)	箇所	体積 (m3)	備考
1	0.100	0.100	0.03	1	0.001	桁下							
2	0.100	0.150	0.03	1	0.001	〃							
										合計(m3)		0.002	

断面修復工　単位数量計算書

概　　略　　図

断面修復工(防錆処理含まない)



断面修復工(鉄筋ケレン・防錆処理含む)数量表　　1橋当り

名　　称	規　　格	単　位	数 量	備　　考
はつり工		m^3	0.002	
断面修復材	ポリマーセメント系モルタル	m^3	0.002	ロス分含む

1. 断面修復材の体積を、上部工は平均t=30mmとして、下部工は平均t=70mmとして算出。
2. はつり工数量は断面修復材の70%と推定して算出。

1橋当り

名　称	計　　算　　式	単位	数 量
はつり工	断面修復材の70%と想定		
	V = 0.002 × 70% = 0.002	m^3	0.002
断面修復材	ポリマーセメントモルタル		
	V = 0.002	m^3	0.002
	ロス率 1.18		
	V = 0.002 × 1.18 = 0.002	m^3	0.002

東栄橋　　ひび割れ補修工　数量集計表

1式当り

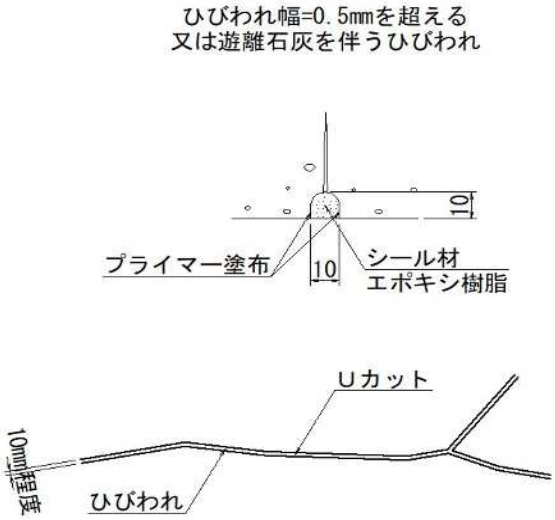
細　　別	規　　格	単位	数　　量	摘　　要
ひび割れ補修工				
充填工法	補修延べ延長20m未満	構造物	1	L=16.9m

名　称	計　　算　　式	単位	数 量
ひび割れ補修工 充填工法	補修延べ延長20m未満 N　=　　=　1	構造物	1
	数量表より L　=　　=　16.90	m	

充てん工法　数量表

番号	延長(m)	箇所数	総延長(m)	備考	番号	延長(m)	箇所数	総延長(m)	備考
1	7.00	1	7.00	A2橋台					
2	7.30	1	7.30	〃					
3	2.60	1	2.60	〃					
							合計(m)	16.90	

概　　略　　図



1橋当り

名　称	計　　算　　式	数　量
充てん工法		
	シール材(エポキシ樹脂) 比重＝1.30	kg
	W ＝ 0.010 × 0.010 × 16.90 × 1.30 × 1000 ＝ 2.197	2.197
	ロス率1.2	kg
	W ＝ 2.197 × 1.2 ＝ 2.636	2.636
	プライマー材(エポキシ樹脂) 標準使用量 0.5kg/m^2	kg
	0.010 × 2 × 16.90 × 0.5 ＝ 0.169	0.169
100m当り	シール材 W ＝ 0.01 × 0.01 × 1300 kg/m3 × 100.0 m ＝ 13.0 kg	
	プライマー材 W ＝ 0.01 × 2 × 0.5 kg/m3 × 100.0 m ＝ 1.0 kg	

東栄橋　　洗堀対策工　数量集計表

1式当り

細　　別	規　　格	単位	数　　量	摘　　要
洗堀対策工				
水中ｺﾝｸﾘｰﾄ		m3	7.0	
同上型枠		m2	6.4	
無収縮グラウト		m3	7.0	
同上型枠		m2	8.1	

名　称	計　算　式	単位	数 量
水中ｺﾝｸﾘｰﾄ	V = 1.08 × 6.52 = 7.0	m3	7.0
同上型枠	A = 0.48 × 2 ＋ 0.83 × 6.52 = 6.4	m2	6.4
無収縮ｸﾞﾗｳﾄ	V = 1.07 × 6.52 = 7.0	m3	7.0
同上型枠	A = 1.24 × 6.52 = 8.1	m2	8.1

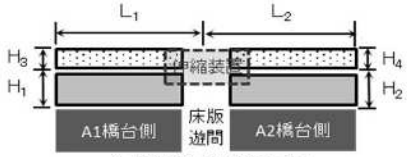
東栄橋　　伸縮装置設置工　数量集計表

1式当り

細　　別	規　　格	単位	数　　量	摘　　要
伸縮装置設置工				
伸縮装置本体	HDJ-SCV20同等品以上	m	9.0	
伸縮装置設置		m	9.0	

名　称	計　　算　　式	単位	数 量
伸縮装置本体	HDJ-SCV20同等品以上 L = 4.50 + 4.50 = 9.0	m	9.0
伸縮装置設置	L = 4.50 + 4.50 = 9.0	m	9.0

名　称	計　　算　　式	単位	数　量
(A1,A2)			
伸縮装置本体	HDJ-SCV20同等品以上　本体重量56.2kg/1.8m		
	L = 4.50 = 4.5	m	4.5
伸縮装置設置	L = 4.50 = 4.5	m	4.5
型枠	軟質ウレタンフォーム 幅60×高さ80mm		
	L = 4.50 ＋(0.25 ＋ 0.075)× 2 = 5.15	m	
	V = 5.15 × 60 × 80 / 1000 = 24.72	ml	
シール材(伸縮装置部)	接続部　塗布面積　塗布厚　箇所数		
	V = 9197 × 1 × 4 / 1000 = 36.79	m3	
	両端部および中央部		
	V = 9197 × 5 × 3 / 1000 = 137.96	m3	
シール材(地覆部)			
	A = 35 × 20 = 700	mm	
	右地覆部		
	V = 700 × 325 / 1000 = 227.50	ml	
	左地覆部		
	V = 700 × 325 / 1000 = 227.50	ml	
	合計 = 455.00	ml	
シール材(地覆部)用プライマー	Aw = 325 × 20 × 2 = 13000	mm2	
	Ww = Aw(m2) × 標準塗布量(g/m2)		
	= 0.013 × 200 × 2 = 5.20	g	
補強鉄筋	SD345 D13(0.995kg/m)		
	W = 2 × 4.50 × 0.995 = 8.96	kg	
金属拡張アンカー	M16		
	N = = 80	本	
寸切りボルト	M16		
	N = = 80	本	
特殊座金A			
	N = = 20	個	
特殊座金B			
	N = = 40	個	
支持棒			
	N = = 12	本	

名　称	計　算　式	単位	数　量
無収縮モルタル	伸縮装置部		
	Am = (L_1 − 床版遊間 ÷ 2)× H1		
	＋ (L_2 − 床版遊間 ÷ 2)× H2		
	 伸縮装置設置断面図		
	Am =(268 − 35 / 2)× 60		
	＋(190 − 35 / 2)× 60 = 25380	mm2	
	= 0.025	m2	
	Vw = 0.025 × 4.500 = 0.113	m3	
樹脂モルタル	Ar = (L_1 − 床版遊間 ÷ 2)× H3		
	＋ (L_2 − 床版遊間 ÷ 2)× H4		
	Ar =(268 − 76 / 2)× 15		
	＋(190 − 76 / 2)× 15 = 5730	mm2	
	= 0.006	m2	
	Vr = 0.006 × 4.500 = 0.027	m3	
樹脂モルタル用増粘剤	比重:2.06g/m3		
	Br = Vr × 比重×10^3 ÷ 箱数(kg/セット) × 箱当たり必要数量		
	= 0.027 × 2.06 ÷ 20 × 2		
	= 5.562 ≒ 6	袋	
樹脂モルタル用プライマー	標準塗布量:300g/m3		
	Cp = L_1 ＋ L_2 − 製品幅 × H3+H4		
	= 268 ＋ 190 − 76 + 15 +15		
	= 412 mm ≒ 0.412	m	
	Ap = 0.412 × 4.50 = 1.854	m2	
	Wp = 1.854 × 300 / 1000 = 0.56	kg	

東栄橋　　排水管補修工　数量集計表

1式当り

細　　別	規　　格	単位	数　　量	摘　　要
排水管補修工				
排水管撤去		m	2.6	
無収縮ﾓﾙﾀﾙ		m3	0.002	
排水管設置		m	6.9	
VP管φ100	直管	m	6.4	
	90°エルボ	個	4	
取付金具		個	4	
本体打込み式ｱﾝｶｰ	M12	個	8	
鉄筋探査	横向き	m2	0.1	
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔		孔	8	

名　称	計　算　式	単位	数 量
排水管撤去	L =(0.80 × 0.40)× 2 × 4 = 2.6	m	2.6
無収縮ﾓﾙﾀﾙ	V = 0.08 × 0.04 × 0.13 × 4 = 0.002	m3	0.002
排水管設置	L =(0.47 ＋ 1.25)× 4 = 6.9	m	6.9
VP管φ100 直管	L =(0.40 ＋ 1.19)× 4 = 6.4	m	6.4
90° エルボ	N = = 4	個	4
取付金具	N = = 4	個	4
本体打込み式 アンカー M12	N = 2 × 4 = 8	個	8
鉄筋探査 横向き	A = 0.20 × 0.10 × 4 = 0.08	m2	0.1
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	N = 2 × 4 = 8	孔	8

東栄橋　　防護柵補修工　数量集計表

1式当り

細　　別	規　　格	単位	数　　量	摘　　要
防護柵補修工				
防護柵	笠木付きガードレール	m	30	

名　称	計　　算　　式	単位	数 量
防護柵補修工	L= 15.00 ＋ 15.00 = 30.0	m	30

東栄橋　　地覆改良工 数量集計表

1式当り

細　　別	規　　格	単位	数　　量	摘　　要
地覆改良工				
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25BB	m	1.9	
型枠		m	10	
鉄筋	D16～D25	t	0.59	
機械式継手	D19用	個	8	

名　称	計　　算　　式	単位	数 量
地覆改良工 ｺﾝｸﾘｰﾄ	V = 0.30 × 0.21 × 15.13 × 2 = 1.9	m3	1.9
型枠	A =(0.21 ＋ 0.13)× 15.13 × 2 = 10.3	m2	10
鉄筋 D16～D25	t = 地覆改良詳細図より = 0.591	t	0.59
機械式継手 D19	N = 地覆改良詳細図より = 8	個	8

東栄橋　　水切り材設置工　数量集計表

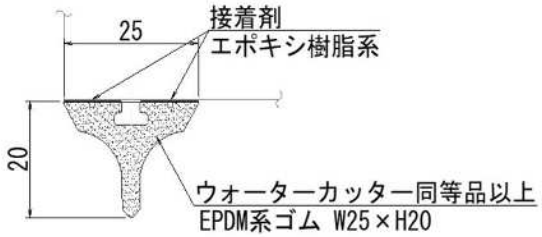
1式当り

細　　別	規　　格	単位	数　　量	摘　　要
水切り設置工				
水切り設置工		m	31	
水切り材	EPDM系ゴム　W25×H20	m	31	

名　称	計　　算　　式	単位	数 量
水切り設置工			
	L=　15.23　＋　15.63　　= 30.9	m	31
水切り材	ウォーターカッター同等品以上　　EPDM系ゴム　W25×H20		
	L=　30.9　　= 30.9	m	31

水切り設置工　単位数量計算書

概　　略　　図



100m当り

名　称	計　　算　　式				単位	数　量
水切り	ウォーターカッター同等品以上 EPDM系ゴム W25×H20	L	=	100	m	100
下地処理	ポリマーセメントモルタル A = 100 × 0.025		=	2.5	m^2	2.5
接着剤塗布	エポキシ樹脂系接着剤 A = 100 × 0.025		=	2.5	m^2	2.5

東栄橋　　構造物撤去工　数量集計表

1式当り

細　　別	規　　格	単位	数　　量	摘　　要
構造物撤去工				
Co構造物取壊し	有筋	m3	1.59	
殻運搬	Co(無筋)構造物とりこわし 人力積込	m3	0.04	
	Co(有筋)構造物とりこわし	m3	1.59	
殻処理	コンクリート塊(無筋)	m3	0.04	
	コンクリート塊(有筋)	m3	1.59	

名　称	計　　算　　式	単位	数 量
構造物撤去工 Co構造物取壊し 有筋	防護柵支柱 v1 = 0.16 × 0.15 × 0.70 × 18 = 0.302	m3	
	地覆 v2 = 0.25 × 0.17 × 15.13 × 2 = 1.286	m3	
	= 1.588	m3	1.59
殻運搬	Co(無筋)構造物とりこわし,人力積込 V = 断面修復工より = 0.035	m^3	0.04
	Co(有筋)構造物とりこわし V = 1.588 = 1.588	m^3	1.59
殻処理	コンクリート塊(無筋) V = 断面修復工より = 0.035	m^3	0.04
	コンクリート塊(有筋) V = 1.588 = 1.588	m^3	1.59

東栄橋　　仮設工　数量集計表

1式当り

細　　別	規　　格	単位	数　　量	摘　　要
仮設工				
吊足場	TYPE A1	m^2	68	
朝顔	TYPE B	m^2	68	
板張防護工	TYPE B	m^2	68	
シート張防護工	TYPE B	m^2	68	
床面シート張防護工		m^2	68	
吊足場	TYPE E シート+板張防護	m^2	34	
大型土のう	製作・設置	袋	14	
大型土のう	撤去	袋	14	

名　称	計　算　式	単位	数 量
仮設工			
吊足場 TYPE A1	A1 = 15.700 × 2.000 × 2 = 63 A2 = 2.600 × 2.000 = 5 ΣA = 68	m^2 m^2 m^2	68
朝顔 TYPE B	A = 吊足場TYPE A1と同様 = 68	m^2	68
板張防護工 TYPE B	A = 吊足場TYPE A1と同様 = 68	m^2	68
シート張防護工 TYPE B	A = 吊足場TYPE A1と同様 = 68	m^2	68
床面シート張防護工	A = 吊足場TYPE A1と同様 = 68	m^2	68
吊足場 TYPE E	シート+板張防護 A = 15.700 × 1.085 × 2 = 34	m^2	34
大型土のう工	製作・設置 N = = 14	袋	14
	撤去 N = = 14	袋	14